

### ✦ ガバナーメッセージ

Old soldiers never die ; I shall just return sometime.



国際ロータリー第2750地区 2008-09年度 ガバナー 新藤 信之

いよいよ最終稿となりました。正直、果たせなかったことが沢山あります。それらは自らの限界を悟り、次年度に託す「夢」とします。一年間、共に歩んでくれた会長さん、幹事さんそして地区役員の皆様に心から感謝いたします。7月からは所属クラブの一会員として仲間と共に活動して行く所存です。

今年度の地区重点目標に関連し、すべてに言及できませんが、特筆したい部分について記させていただきます。

「RIテーマ及びRI会長の強調事項の推進」は、ガバナー訪問、各グループのIM、クラブ行事に参加する中で、各々のクラブが、地域社会に根ざした特有の問題と関連させて、工夫と苦勞を重ねながら一年間活動し、素晴らしい成果をあげたと確信します。特に先般、RIと地区の表彰クラブ・個人を選考する過程で、多くのクラブが果敢に挑戦し、実績をあげていることを確認いたしました。ウェブサイトのグループ活動通信からも、このことは窺い知ることが出来ました。具体的には、6月の最終合同会議での表彰を通じ、一年間のクラブ活動を紹介し、心から敬意を表したいと思います。

「地区組織の簡素化と地区財務の透明・適正化」は「四大奉仕を基礎としたDLP・CLPの推進」と「会員基盤維持、拡大」と相俟って、谷島年度、坂本年度を継続し、クラブ支援のための地区組織はどうあるべきかについて、またクラブ強化にCLPが如何に有効か、その推進が会員基盤の強化にどう結びつくか、将来の地区とクラブのあり方は如何にあるべきかについて一定の方向を示すことができたと思います。ただ、地区財務改革については、今後も時間をかけながら徐々に改善していかなければならないと痛感いたしました。この点、エレクト、ノミニエとの引継ぎでも強調しておきましたが、奉仕団体と企業との会計組織の違いをこれから研究すべきです。基本的に利益を元に企業活動をする会社と、会費を元に奉仕活動をするロータリーは全く異なります。社員と地区委員の活動資金に対する意識も異なります。多くの資金を必要とする委員会等の活動内容を把握するには、会費収入の他に登録料も含め、「月次毎」の報告書・領収書を添付した

補助帳簿を作成するべきです。元帳と一括の領収書綴りでは、調べて調べることも、透明性を確保することも困難だからです。透明性が確保できなければ、適正に使用されているかの判断も出来ません。

一クラブ単位の少人数化は、この10年続くものと予測いたします。この間、CLPの考えを取り入れざるを得ないクラブが主流になるものと確信します。それらのクラブが弱体化を避けるには、特に、職業奉仕を基礎とした会員基盤強化が必須です。と同時に、クラブを越えた親睦と奉仕が必須です。そして、地区のリーダーシップが、クラブ自治権の下に、クラブから信頼され、クラブと地区が真の互惠関係を形成して行くことが今後ロータリーの生き残る道と確信します。

各種プログラムを地区が主導している間は、そしてクラブが地区に対し受動的である間は、クラブは強化、活性化されません。お互い「プログラムのクラブレベルへの普及・推進」の真の意味を今一度考えてみて下さい。例えば、新世代の年次大会や各種セミナーがありますが、提唱・ホストクラブの会員がどれだけ参加しているでしょうか。非提唱・非ホストクラブは、これら新世代の年次大会やセミナーにどう対応しているでしょうか。地区委員会はクラブに対して、登録料を含め、どのような要請をしているでしょうか。これは、今後クラブと地区の関係で特に改善すべき課題です。

最後に、ガバナー月信と地区ホームページに関わるコミュニケーションの問題を反省しなければなりません。今年度の月信の配布対象、形式、内容については、これもひとつの試みであって、次年度異なる方法を採用しても良いと思います。ホームページはクラブの自主的な投稿によるのではなく、ガバナー補佐を通じ順次投稿を依頼する方式を採用しましたが、これも移行期と考え止むを得ないと思いますが、当初考えていたガバナーと皆さんとのEメールやブログによる意見交換がほとんどできず、月信、ホームページ上でのコミュニケーションを補完できなかったことは、残念であり、反省すべき点と考えております。この一年間多くのことを皆さんから学ばせていただきました。そして望外な体験をさせて頂きました。ただただ皆さんに感謝するのみです。ありがとうございました。

◆ ガバナー月信の P.1 / P.2 (表裏) 1枚を会員に配布して下さい ◆

G  
M  
L

## INDEX

- ✦ ガバナーメッセージ
- ✦ ガバナー会の現況報告 ガバナー 新藤 信之
- ✦ (続)ガバナー会の現況報告／寄付報告／物故
- ✦ 出席報告／編集後記

<http://www.ri2750.org/>

### ✦ ガバナーからのお知らせ

6月12日(金)今年度最後の会長・幹事、地区役員合同会議を開催します。懸案事項である地区積立金の処理とチューク水プロジェクトについて、一定の結論を出さなければなりません。

また一年間を振り返り、すべてを網羅出来ず残念ですが、各クラブの賞賛すべき活動を紹介する意味で、表彰式を行います。

会長・幹事さん！地区役員の皆さん！素晴らしい一年でした。この一年間、精魂込めて耕し撒いた種は、それぞれのクラブで、地区の随所で、いつかきっと芽を出し、実を結ぶと信じます。

Old soldiers never die ; I shall just return sometime.

Finally this is the final issue. Frankly speaking, there are a lot of things not to be achieved this year. These are the Dreams that are recognized as my limitation and taken over to the following year. I greatly appreciate the Club presidents, secretaries and the District officers to go along with me for this one year. I will do the activities with my club Rotarians as one Rotarian from this July.

I describe some special note related with the important District goal, but I can not write all of them. I am sure that promotion of RI Theme and RI president's emphases is achieved by each Rotary club that has made the Rotary activities for this year to run up your ideas and difficulties that are related with the particular problems aroused on the community during your attending the Governor's Official Visiting, each Group's IM and the club events and you have made the splendid results. Especially the other day, I have confirmed that a lot of Rotary clubs daringly challenged and had an impressive record of achievement through screening RI, awarded clubs of the District and personal. I could infer from the group activity message on the web site. Concretely I think I will introduce your annual club activities and pay my sincere respect to you through the recognition at the last joint conference held in June.

I think the simplicity of the District organization and the clarity and fairness of the District finance is coupled with the promotion of DLP and CLP based on four Avenues of Service and membership base management and expansion both and we can formulate the invariable direction how the way of the District organization is for the club support, CLP is effective for the club development and the way of the future District and the club each other through continuous year of the Governor Tanishima and the Governor Sakamoto year respectively. But about the revolution of the District finance I keenly realize we have to improve it to spend more time hereafter. I emphasize it at the takeover to the Governor Elect and Nominee and we have to study the difference of the accounting structure between the volunteer group and the enterprise. Basically it is absolutely different between the company that makes the business activities on the basis of profit and the Rotary that makes the service activities on the basis of membership due. There is any difference for the consciousness of the activities fund between the corporate employee and the District Committee member. We have to create the subsidiary books attached with monthly reports and receipts including the membership revenue, registration fee and so on in order to understand the contents of the activities on the committee, etc. that need a lot of fund. It is difficult to secure the clarity by retrospectively inspecting the ledger and a set of

receipts. If we can't secure the clarity, we can't reasonably judge the use of it.

The small sized of each club will be expected to continue for these 10 years. I am sure that the clubs to be brought in the thought of CLP will be mainstreamed during these years. These clubs especially need the membership base reinforcement based on the Vocational Service to escape the weakness. And at the same time, "Fellowship and Service above the club" is the essential condition. I am sure that what the District leadership is trusted by the club and forms reciprocal relationship between the club and the District is a way to survive the future Rotary.

While the various programs are led by the District and the club is passive to the District, the club can not be strengthen and activated. Please reconsider the real meaning of popularization and promotion of the program level together. Are annual new-generation conferences and various seminars, for example attended by the members of the sponsoring or host clubs, or not. How are non-sponsoring and non-host clubs dealt with these new-generation conferences and various seminars? How the District committees request to the clubs about the registration fee? These are issues to especially improve between the club and the District hereafter.

Finally we have to think about the communication problems between the Governor's monthly newsletter and the District home page. About the distribution subject, form and content, I think this is one of the trials and will be changed into the different way next year. Our home page is not based on the voluntary contribution from the club, but is adopted the way of requests to the contribution in turn through the Assistant District Governor. This is an inevitable way on the transitional term, but we can not make an opinion exchange be the home page and the e-mail between the Governor and the clubs that I have thought at the beginning and I have to regret it and think about myself not to complement the communication on the Governor's monthly newsletter and e-mail. I have a lot of things to learn from you for this one year and have a lot of unexpected experiences. I have to do nothing but to appreciate you. Thank you so much for this year.

## ✚ ガバナー会の現況報告

ガバナー 新藤 信之

前号で、ガバナー会の現状、特に、対処しなければならないと思われる問題について、作業部会を設けて問題点の把握と解決策を検討し、問題の解決を図るために「ガバナー協議会」を設置したことを報告致しました。この協議会については、引き続き検討しなければならない点もありますが、全国レベルのロータリーの共通する諸問題を継続的、且つ長期的に取り組むために、ガバナー会の諮問機関として位置づけ、任期2年とし、各地区から現ガバナー（選出時）、パストガバナーを2年毎に交互に選出し、但し書きの追加選出を加え36名で構成すること等を決議しました。そして来る6月9日（火）、今期第1回のガバナー協議会を開催することとしました。

ガバナー会傘下の委員会の内、既に役割を終えたということで…①ガバナー会青少年委員会（JYDC）の解散 ②ガバナー会ロータリージャパン情報センター委員会（RJIC）の廃止 ③RI指針検討委員会の廃止を、昨年の第1回ガバナー会で決めました。現在、ガバナー会と関連する委員会として…④青少年交換委員会（JYEC） ⑤ロータリーの友委員会 ⑥ロータリー文庫運営委員会 ⑦国際ロータリー日本青少年交換委員会（RIJYEC）の四つの委員会が残っております。④と⑦の青少年交換事業に関係する委員会は、この事業がRIプログラムであり、学生始め多くの人々が介在しており、多くの問題点があります。しかもこれらに対し見解も様々です。従って今回は⑤と⑥の委員会の問題に限定します。

### ロータリーの友委員会の主要問題

ロータリーの友は、日本の地区が2つに分割されたのを契機に、昭和27年（1952年）創刊号が発刊され、昭和55年（1980年）RIの地域雑誌として認証を受けました。認証されるまでは、日本のロータリアンは、「ザ・ロータリアン」と「ロータリーの友」の2冊を購読する義務が課せられておりました。現在、RIコミュニケーション委員会により5年毎に認定を受けることになっています。

1. 「委員会」を管理監督するのはガバナー会かRI（コミュニケーション委員会）か。

ガバナー会規約の委員会規定の中に「ガバナー会は、ロータリーの友委員会の委員長を委嘱する」とあります。一方、ロータリー章典51.020.1-2に「この雑誌の出版は、全面的に編集委員会の直接監督下に置かれる。委員会は現ガバナー又はその代理、…元RI役員3名を含む少なくとも6名で構成される」とあります。

RIから認定を受けるために、出版業務、編集内容に対して、編集委員会であるロータリーの友委員会が直接の監督権を持つことは章典の規定より明らかなですが、委員会そのものに対しての監督は、現規定上は、委員長の委嘱権限を持つガバナー会に形式的な監督権があると考えられます。しかし、実質的に監督できるかは別であり、どこまでできるかも疑問です。むしろ、形式的な監督権を実質的に担保するための制度的保障をどのように整備するかが重要です。現在、各地区はロータリーの友委員をガバナーの代理として編集委員会のメンバーとしています。その地区委員は任期が1年で、毎月開催の常任委員会には

出席しませんが、5月のオリエンテーションに始まり、4回の合同会議を通じて、ガバナーの意向を委員会と友の編集に反映する制度となっています。次年度、3ブロックから直前ガバナーを顧問にし、委員とブロック会議を開催し、より良いコミュニケーションを目指しています。これらの制度が、監督権との関係で充分担保されているかどうか、また、少なくとも6名で構成される委員会が、現在57名構成となっていますが、これが適正か否か、これらはあらゆる角度から今後検討する必要があります。

2. 特別基金積立金4億円を含め、正味財産が6億6千万円あります（2008.6.30現在）。現購読料の適否を含め、財務の公開方法と積立金の適度額への見直し・処理の仕方が問題になります。

購読料はクラブが直接支払っていますが、年次決算報告は定期的に比較的詳細にガバナー会へ報告されております。会計資格を有するロータリアンが監事として監査を行なっています。直接クラブへ年次財務表と決算報告書を提出するか、外部から監事を入れるべきか…は今後検討する必要があります。

地域雑誌として「RIに財政的負担をかけずに済むに足る資金を備えている」ことが必要ですので、積立金の適正額をいくら積み立てておくか問題ですが、それに加え4億円の積立金の使途予定がはっきりすることが必要です。早急に積立金使用目的を明確化し、相当の残金が出るのであれば、購読料の減額を含めてその処理を今後検討する必要があります。

3. 将来的には法人化をする必要があるのではないかと。以上3点がロータリーの友委員会の主要な現況の問題です。

### ロータリー文庫運営委員会の主要問題

「ロータリー文庫」は日本のロータリー創立50周年記念事業の一つとして、1970年に創立されました。ロータリー日本50年史を編集した際に収集した貴重な資料を保管することから始まったと言われております。その目的はロータリー関係の貴重な文献や資料などの収集と整備を行うことで、現在2万点が収納されています。ロータリー文庫はロータリー文庫運営委員会が任期3年の運営委員9名と監査委員2名の11名で、年間5回の委員会を開催し運営しています。2001年、ガバナー会規定から委員長の委嘱規定と文庫の報告義務が削除され、ガバナー会の直接監督下になり委員会となりました。決算書類も10数年前まではガバナー会に提出されていましたが、現在は、不完全な貸借対照表と簡単な収支計算書が毎年10月～11月に直接ガバナーに送られています。

1. 詳細な年次財務表と報告書がなく、かつ財務内容が不透明である。

創立以来、各地区は会員一人当たり上期150円/下期150円、計年間300円を地区資金から文庫へ「クラブ協力金」として納めてきました。その協力金の総計は、今年29年目を迎えますので、推定で15億円以上であると考えます。それがこれまで不透明に処理されてきた可能性があります。ガバナーへの報告書で見える限り、複式簿記で会計処理をしているのかも疑わしいほどです。➡





例えば、毎年、退職給与引当金繰入を支出計上していながら、貸借対照表には退職金給与引当金の科目が見あたりません。ロータリーの友の特別基金積立金のような基本財産がいくらあるのかも解りません。更に経費のほとんどが一般管理費(賃貸管理費)と人件費で占められています。11名の役員と年5回の会議が必要なのかを含め、会議費、役員一人当たりの経費、事務員への人件費はいくらか、等々手元の4年間の収支決算書を見れば見るほど疑問が沸いてきます。

2. 現在、文庫のホームページで一部デジタル化され、PDFファイル化されている資料がありますが、資金提供者の会員の立場で、資料管理と収集が成されているか。

資料の閲覧は、PCでホームページにアクセスするか、一枚20円プラス送料を払いコピーを送ってもらうかの二通りです。貴重な資料のみ3年ほど前にマイクロフィルム化したと聞いていますが、不鮮明であったり、歪んだりして見にくいものが多い。誰でも、いつでも、どこでも、無料で情報を入手できるようにしたいものです。毎年新しく加わる資料はどの位あるのか、文庫の実質的な活動を推進して行くためには、毎年どの位の運営資金が必要なのか。

いろいろな疑問が生じます。この様な意味で、ガバナー会として、右記の提案を文庫をお願い致しました。

ロータリー文庫運営委員会委員長 中村 昌平様

ガバナー会議長 櫻井 権司

3月13日付け文書にてご連絡申し上げました通り、本年度ガバナー会ではロータリー文庫運営協力金のお支払いに関し、年間200円/人とする事を申し合わせ、但し協力金額の最終判断は各地区ガバナーに委ねることといたしました。

今後、貴委員会におかれましては継続的に以下の4点についてご協力下さるようお願い申し上げます。

1. 役員の選任、会則変更はガバナー会の承諾を得ていただくこと。
2. 資料のデジタル化を推進すると共に、ウェブサイトの使い勝手を向上させること。
3. 決算報告は文庫日よりへの掲載だけでなく、収支計算書、貸借対照表、監査報告書を34地区のガバナーに直接ご報告いただくこと。
4. 協力金を可能な限り引き下げること。

従って、会員の皆様から300円地区資金の中でいただいている文庫運営協力金は、現時点で200円支払っております。

上記の4項目と関連し、いくつかの疑問を提示しておりますが、これに対し誠意ある回答がない場合、最終的に会長会の承認を得て、100円は「文庫支払い予定の預り金」として次年度へ繰り越させて頂こうと考えています。

## 米山功労者ご紹介

ご協力を感謝致します

米山功労者	高取 良雄君	東京みなと	09.4.8	1
	関戸 達哉君	東京多摩	09.4.8	1
	志村 光明君	東京多摩	09.4.13	10
	安藤 直道君	東京西	09.4.16	2
	関谷 透君	東京西	09.4.16	1
	兵頭 大輔君	東京恵比寿	09.4.17	2
	市川 伊三夫君	東京銀座	09.4.24	5

## ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル  
ご協力を感謝致します

	浅野 広義君	東京みなと	09.4.3
◎	福原 秀美君	東京みなと	09.4.3
◎	細野 征男君	東京みなと	09.4.3
	石曾根 良君	東京みなと	09.4.3
◎	川端 庄造君	東京みなと	09.4.3
◎	水野 忠久君	東京みなと	09.4.3
◎	水澤 進君	東京みなと	09.4.3
◎	岡田 恭彦君	東京みなと	09.4.3
	笹本 和宏君	東京みなと	09.4.3
	高添 俊幸君	東京みなと	09.4.3
	竹内 正浩君	東京みなと	09.4.3
◎	渡辺 俊之君	東京みなと	09.4.3
◎	野崎 正史君	東京恵比寿	09.4.3
◎	宇佐美 博子君	東京恵比寿	09.4.3
	高橋 隆君	東京八王子南	09.4.10
	高井 昇君	東京八王子南	09.4.10
◎	浅子 喬君	東京銀座	09.4.24
◎	石神 昭三君	東京原宿	09.4.24
◎	森川 暁君	東京原宿	09.4.24
◎	田中 昭太郎君	東京世田谷南	09.4.24
◎	小粥 定美君	東京成城新	09.4.24
◎	中山 賢二君	東京立川	09.4.24
◎	黒板 行二君	東京築地	09.4.30
◎	花田 ちえ子君	東京白金	09.4.30
◎	塚原 正道君	東京白金	09.4.30
	藤野 益夫君	東京飛火野	09.4.30

## 新ベネファクターご紹介

ご協力を感謝致します

宮原 隆夫君	東京八王子	09.4.24
小西 悦郎君	東京新橋	09.4.30
渡邊 美佐君	東京恵比寿	09.4.3

## 深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



北島 清雲(東京町田RC)

2009年4月8日逝去(享年81)  
1980年8月8日入会  
1994-95年度 会長  
ポール・ハリス・フェロー  
第18回米山功労者 メジャードナー



武 弘樹(東京築地RC)

2009年3月24日逝去(享年65歳)  
2008年8月 東京築地RC 入会



岡田 進(東京中央RC)

2009年5月21日逝去(享年81歳)  
1987年6月5日入会  
2001-2002年度 地区会計  
米山功労者(8回)  
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



依田 和雄(東京立川RC)

2009年4月20日逝去(享年88歳)  
1974年5月 東京立川RC 入会  
1991-92年度 会長  
米山功労者 3回  
ポール・ハリス・フェロー

# ★国際ロータリー第2750地区出席報告（4月分）★

## District 2750 Membership Attendance Report April 2009

区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数		
				08年7月1日	09年4月末	増減					08年7月1日	09年4月末	増減
千代田グループ	東 京 南	4	80.44	179	177	-2	多摩南グループ	東 京 八 王 子	4	91.61	60	63	3
	東 京 芝	4	91.44	95	93	-2		東 京 町 田	4	74.02	61	56	-5
	東 京 新 橋	4	76.90	54	56	2		東 京 日 野	4	84.89	43	44	1
	東 京 赤 坂	4	71.50	54	51	-3		東 京 八 王 子 西	4	87.23	68	70	2
	東 京 み な と	4	85.65	52	54	2		東 京 町 田 ・ 中	3	86.44	40	39	-1
	東京レインボー	4	83.98	48	43	-5		東京八王子東	4	91.66	31	30	-1
銀座・日本橋グループ	東 京 麻 布	4	76.10	22	23	1		東京八王子南	4	89.29	56	59	3
	東 京 銀 座	4	74.52	162	167	5		東京町田サルビア	5	100.00	27	26	-1
	東 京 日 本 橋	4	80.50	174	182	8		東 京 飛 火 野	4	72.66	32	32	0
	東 京 築 地	3	86.06	70	67	-3		東 京 町 田 東	4	76.67	31	31	0
	東 京 日 本 橋 東	4	79.25	54	55	1		東 京 八 王 子 北	4	90.32	33	32	-1
	東 京 中 央	5	75.58	230	245	15		東 京 立 川	4	95.66	88	88	0
	東京日本橋西	4	81.67	49	51	2	東 京 小 金 井	5	94.90	40	35	-5	
	東 京 銀 座 新	4	79.31	76	74	-2	東 京 国 分 寺	4	97.79	54	52	-2	
	東京シティ日本橋	4	75.00	50	51	1	東 京 三 鷹	4	86.40	48	45	-3	
	東 京 中 央 新	4	64.10	38	39	1	東 京 昭 島	4	88.62	50	50	0	
京浜グループ	東 京 羽 田	4	91.12	45	50	5	多摩中グループ	東 京 国 立	4	96.50	56	56	0
	東 京 大 森	4	93.12	52	52	0		東京立川こぶし	4	83.17	85	83	-2
	東 京 品 川 中 央	4	87.77	44	56	12		東 京 井 の 頭	4	85.20	25	27	2
	東京田園調布	4	92.62	46	50	4		東京昭島中央	5	95.00	31	41	10
	東 京 蒲 田	4	93.18	60	59	-1		東京武蔵国分寺	3	92.69	57	54	-3
	(東京荏原かめりあ)	-	—	(12)	(0)	(-12)		東京小金井さくら	4	77.18	22	23	1
	東京田園調布緑	3	83.85	23	24	1		東京国立白うめ	4	78.75	25	23	-2
	東 京 品 川	5	85.55	67	67	0		東 京 府 中	4	82.03	65	66	1
	東 京 大 井	3	66.67	17	19	2		東 京 調 布	4	83.39	69	68	-1
	東 京 港 南	4	70.00	19	20	1		東 京 多 摩	4	74.14	25	29	4
	東 京 大 崎	4	90.86	33	39	6		東 京 狛 江	4	93.62	34	32	-2
	東 京 京 浜	3	85.24	23	23	0		東 京 稲 城	5	77.64	35	35	0
	東 京 マ リ ー ン	4	70.99	18	20	2	東 京 武 蔵 府 中	4	79.58	52	56	4	
	山の手東グループ	東 京 白 金	4	82.60	33	31	-2	東京たまがわ	3	82.05	26	25	-1
東 京 高 輪		2	81.63	28	29	1	東京多摩グリーン	4	74.28	32	36	4	
東 京 西		4	86.46	157	152	-5	東京調布むらさき	4	88.24	79	85	6	
東 京 城 西		4	76.30	75	83	8	Guam		—	63	70	7	
東 京 西 南		3	84.56	59	58	-1	Saipan		—	45	48	3	
東 京 原 宿		3	81.42	31	32	1	Tumon Bay	4	38.54	96	96	0	
東 京 杉 並		1	75.51	44	44	0	Northern Guam		—	34	36	2	
東 京 神 宮		4	70.59	40	41	1	Pohnpei	5	60.00	20	20	0	
東 京 恵 比 寿		3	76.40	100	101	1	Palau	5	75.00	16	16	0	
東 京 広 尾		4	78.57	32	28	-4	Guam-Sunrise	4	52.20	34	34	0	
山の手西グループ	東 京 込 谷	3	74.11	45	41	-4	Truk Lagoon		—	7	10	3	
	東 京 六 本 木	4	77.00	52	53	1	国内82クラブ計			4,478	4,549	71	
	東 京 世 田 谷	3	91.19	49	65	16	地区91クラブ計			4,793	4,879	86	
	東 京 目 黒	4	86.20	48	48	0	千代田グループ	80.86	多摩南グループ	85.89			
	東 京 成 城	3	88.89	25	25	0	銀座・日本橋グループ	77.33	多摩中グループ	89.32			
	東京世田谷南	3	89.00	92	93	1	京浜グループ	83.94	多摩東グループ	81.66			
	東 京 城 南	2	63.00	28	28	0	山の手東グループ	78.09	P B グル ー プ	—			
	東 京 山 の 手	4	77.14	68	70	2	山の手西グループ	80.82					
	東 京 成 城 新	4	82.41	43	41	-2			平 均 出 席 率	82.66			
	東 京 青 山	3	71.40	31	35	4			(PBGを除く)				
	東京自由が丘	5	84.17	20	18	-2	※ PBグループの出席率については、5月25日現在未着です。次号に掲載予定です。						
	東京世田谷中央	3	74.75	32	35	3							

### 編集後記

新藤年度のガバナー月信、ホームページの最終号の編集を終わり、一年間を振り返り反省する点が数多くあります。次年度の田辺ガバナー月信・IT委員長は、今年度の委員でもありましたので、それらの点は、改善されるものと考えます。この一年間、皆様には原稿依頼など

多々失礼があったかと思います。ロータリーの寛容の精神でご容赦下さい。ガバナー月信・IT委員会へのご協力を委員一同、心から感謝致しております。尚、当委員会は、引き続き年次報告書の作成を担当致しますので、今まで以上のご協力をお願い申し上げます。

2008-09年度 ガバナー月信・IT委員会 委員長 森本 行俊(東京町田サルビアRC)

## 国際ロータリー第2750地区 2008-09年 ガバナー 新藤 信之

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

## Rotary International District 2750 2008-09 Governor Nobuyuki Shindo

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 新藤 信之(2008-09) © Nobuyuki Shindo 2009

編集・制作：ガバナー月信・IT 委員会委員長 森本 行俊 副委員長(ガバナー月信担当) 浅見 省三

竹平 時彦 中野 博義 田辺 克彦 松田 美房 清野 修一 坂場 一隆 渡辺 卓美 山見 真弘 木村 清信 高柳 数利

ガバナー月信・IT 委員会副委員長(IT担当) 河村 勝久

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>